

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

スタンレー電気株式会社広島製作所

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市志和町奥屋1866番地

(3) 業種

電気照明器具製造業

2 計画の期間

2019年度を基準年度とし2020年度から2029年度までの10年間とする
現在カーボンニュートラルを考慮してさらに2029年度までの10年間の目標値を策定中

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（％）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	令和1年度 (2019年度)	令和11年度 (2029年度)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
エネルギー 起源CO ₂	6,905	3,453	5,472	5,369	6,145	6,937	0
		50.0	20.8	22.3	11.0	(0.5)	100.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	6,905	3,453	5,472	5,369	6,145	6,937	0
		50.0	20.8	22.3	11.0	(0.5)	100.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	2023年度は工場拡張に伴い、面積が倍近くなったが、CO2排出量の増大は最小限にとどめた。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	令和1年度 (2019年度)	令和11年度 (2029年度)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	電気使用量の削減	2019年度比で2030年度には半減達成に向け、年5%は削減目標。	蛍光灯のLED禍 太陽光発電の追加設置 蓄電池設置 地熱利用の冷暖房 廃熱の再利用 廃熱の暖房利用 省エネ型設備設置と運用
2			
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。